

SINCE 1889



アルミ製卓上フード

(上下開閉サッシ)

中央実験台用

サイド実験台用

GFJ シリーズ

目指したのはフード内での高い作業性と視認性！

“実験台の上に設置して使用する卓上フード”



●画像はすべてイメージです。

両面タイプ(中央実験台用)

GFJ1-12
間口:1200mm

GFJ1-15
間口:1500mm

GFJ1-18
間口:1800mm

●画像はGFJ1-18です。



高さ: 1300mm
奥行: 1500mm

片面タイプ(サイド実験台用)

GFJ2-12
間口:1200mm

GFJ2-15
間口:1500mm

GFJ2-18
間口:1800mm

●画像はGFJ2-18です。



高さ: 1300mm
奥行: 750mm

ヤマト科学株式会社

中央実験台用

GFJ1

手前と奥の両方向から
庫内へアクセスできる

アルミ製卓上フード（上下開閉サッシ）

両面タイプ

中央実験台用

間口:

高さ:1300mm、奥行:1500mm

1200mm
GFJ1-12

1500mm
GFJ1-15

1800mm
GFJ1-18



高い作業性・視認性

実験台との上下組み合わせで、



サイド実験台用

GFJ2

開口間口が広く、庫内
へのアクセスが容易

アルミ製卓上フード（上下開閉サッシ）

片面タイプ

サイド実験台用

間口:

高さ:1300mm、奥行:750mm

1200mm
GFJ2-12

1500mm
GFJ2-15

1800mm
GFJ2-18



既存の実験台の上にも設置可能！ 現在のレイアウトのまま実験環境を改善

既存の実験台の上への設置を考慮し、本体主材には他金属に比べて比較的比重の小さいアルミを採用しました。製品重量が軽いため、重量のある装置や複数の装置を使用している実験台の上にも設置可能*1です。現在のレイアウトを変更せずに、薬品の臭いや装置の廃熱が気になっていた場所、換気が必要な場所の環境を改善いただけます。アルミ表面には陽極酸化塗装複合被膜を施しておりますので、アルカリや有機溶剤を使用する環境でも安心してご使用いただけます。

*1 既存実験台の耐荷重、実験台上で使用している装置の重量により設置頂けない場合もございます。

片手で上げ下げスムーズなサッシ 二重ワイヤ構造で操作も安心

整流効果（特定の方向に流れを起こす現象）と掴みやすさを考慮したエアロハンドルをサッシ下部に装着。サッシを片手で快適に操作できるだけでなく、フード内への外乱を最小限に抑える効果もあります。また、万が一サッシを吊っているワイヤが切れても、予備のワイヤが落下を防止する二重ワイヤ構造を採用。作業者の安全を第一に考え、予期せぬ事故を未然に防ぐ安全対策が取られています。



●画像はすべてイメージです。実際の色、質感と異なって見えることがあります。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。●本製品に排風機は付属していません。ダンパ、排気フィルタ、排ガス処理装置等を設ける必要があります。合わせてご相談ください。●単独排気、集中排気のいずれも、前面制御風速、熱負荷等に適した排気風量、ダクト径を選定することで安全にご使用は十分注意してください。●ガスバーナのご使用は2本程度、電熱は2kW程度にとどめてください。●過塩素酸は使用しないでください。●電源周波数を指定ください。●腐食性の強い薬品類は使用しないでください。

性を実現する新型卓上フード誕生！

限られた空間を有効活用！ 環境改善対策としてもオススメ！



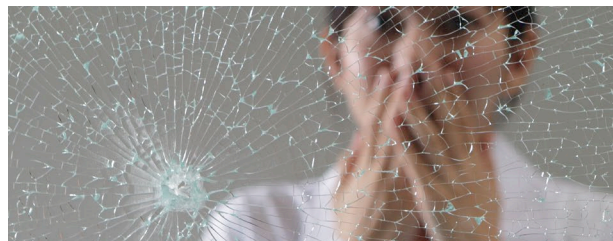
●画像はアルミ製卓上フードGFJ1-18(左)、GFJ2-18(右)と、水に強い実験台Neo Traditionalシリーズ(下)の組合せイメージです。

設計を見直し柱をスリム化 高い視認性と作業のしやすさを実現

新設計の柱(正面左右の柱寸法を従来の100mmから50mmに変更)を採用することで、従来品と同等の外形寸法でありながら、最大約10%の開口間口の拡大に成功しました。さらに、LED照明を標準で装備し、フレームの一部を廃止したことで、庫内の高い照度と視認性を実現しました。側面にもガラス窓を用いたことで、実験室全体としても視界の妨げになりにくい設計です。

安心してお使いいただくために ガラスに対しても二重の安全対策

サッシ、側面窓のガラスには、衝撃などに強い強化ガラスを採用。万が一割れた場合でも、鋭利な破片になりにくく比較的安全ではありますが、割れた衝撃で破片が周囲に飛散します。そこで、ガラスの飛散や割れ落ちることを防ぐ飛散防止フィルムを貼付して安全性をより一層高めています。



その他の特徴

- 筐体は解体・再組立てが可能なロックダウン方式を採用。実験内容やレイアウト変更等の移設時に有効です。
- 正面パネル色の変更も可能です。別途、お問い合わせください。



●画像はイメージです。

オプション GFJ シリーズ共通



●画像はイメージです。

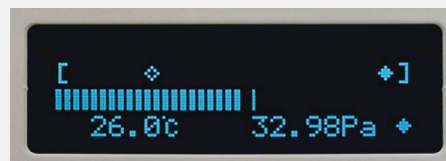
①ステータスマニタ

離れた場所からも卓上フードの動作状況が一目でわかるステータスマニタです。表示される色(4色)によって、卓上フードの状態をお知らせします。

モニタの色	フードの状態
● 緑	受電(待機)
● 青	稼働中(運転中)
● 黄	風量低下(警告)
● 赤の点滅	異常(エラー)

②風量モニタ

どの角度からでも見やすいLEDキャラクタディスプレイを採用した、風量モニタです。異常時には警報ブザーとエラー表示で作業者に異常を通知します。卓上フード内の安全管理に役立ちます。



写真はイメージです。

設置場所、ご使用条件により別途選定してください。●卓上フードを安全にご使用いただくためには、排気設計が重要です。卓上フードのほか、排気ダクト、排風機、排出口、必要に応じて風量制御、風量表示、防火用いただけます。●実験室の安全設計のためには適切な空気の流れと必要換気量を維持し、排気量と給気量のバランスを保つことが必要です。●本製品は、防爆構造ではありませんので、ご使用になる雰囲気にご注意ください。

主な仕様

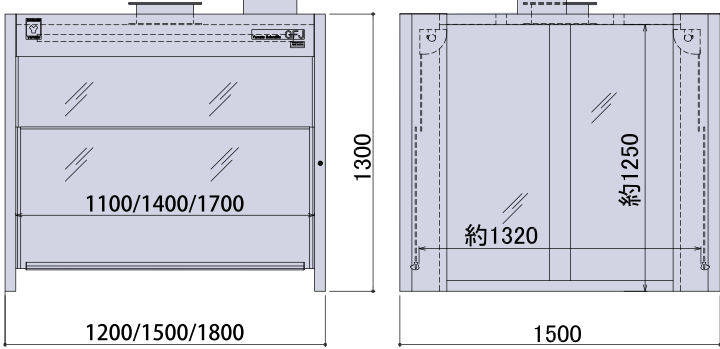
		両面タイプ (中央実験台用)			片面タイプ (サイド実験台用)		
型式		GFJ1-12	GFJ1-15	GFJ1-18	GFJ2-12	GFJ2-15	GFJ2-18
商品コード		A003642	A003643	A003644	A003645	A003646	A003647
外形寸法	間口*1	1200mm	1500mm	1800mm	1200mm	1500mm	1800mm
	奥行	1500mm			750mm		
	高さ	1300mm			400mm		
作業開口高さ		アルミ(陽極酸化塗装複合皮膜)					
側面および正面枠		強化ガラス5mm厚					
前面サッシおよび側面窓		透明塩化ビニル樹脂板5mm厚、アルミ2mm厚			アルミ2mm厚		
天井窓		—			アルミ2mm厚		
背板		飛散防止フィルム貼り、二重ワイヤサッシ落下防止機構					
安全機構		単相 AC 100V					
電源		2灯			1灯		
LED照明							
排気風量*2		17m³/min	22m³/min	26m³/min	14m³/min	18m³/min	21m³/min
重量		約160kg	約180kg	約200kg	約100kg	約110kg	約120kg

*1 間口2400、3000、3600mmタイプ等、間口ラインアップにない寸法の卓上フード製作も承ります。お気軽にご相談ください。 *2 サッシ(片側)400mm開口時

外形寸法図

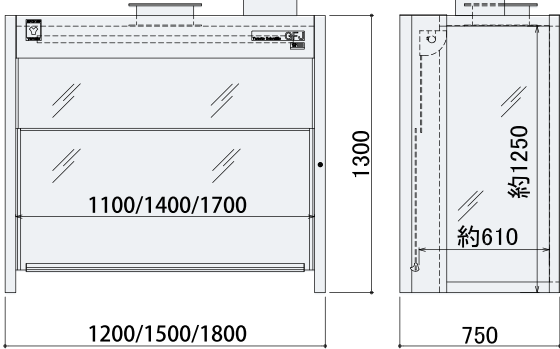
GFJ1-12/15/18 両面タイプ(中央実験台用)

寸法図(mm)



GFJ2-12/15/18 片面タイプ(サイド実験台用)

寸法図(mm)



Q&A GFJ シリーズ

Q 製品を稼働させるために必要なファン(排風機)もセットで購入したいのですが。

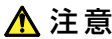
弊社にはファン(排風機)の取り扱いもございます。ファンの選定から製品の据え付け、ダクト施工、メンテナンスまで一貫して対応させていただきますので、お気軽にご相談ください。

Q 有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則に該当する業務に使用できますか？

問題ございません。労働基準監督署への届け出実績も多数ございますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

Q もう少し間口の大きい(小さい)製品が欲しいのですが、製作してもらえますか？

間口2400、3000、3600mmタイプ等ラインアップにない寸法の卓上フード製作も承ります。お客様のご要望に沿う図面を作成し、最適な提案をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。



注意

本カタログに掲載された製品の仕様・性能数値は、一般的な使用条件における、ユーザーガイドとして提示しています。ご使用の際は、取扱説明書の内容をご理解いただき、正しくご使用ください。取扱説明書の記載使用条件を外れて使用され、人的・物的損害が発生しても、当社はその責任を負いかねますのでご注意ください。

●仕様および外観、価格は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。●製品カラーは、撮影・印刷インキの関係で実際の色と異なって見えることがあります。●価格には、消費税が含まれておりません。●記載されている会社名、製品名およびロゴは、当社または各社の商標および登録商標です。本文中に「TM」、「®」は記載しておりません。

SINCE 1889



科学・技術の未来のために

ヤマト科学株式会社

本社 〒104-6136 東京都中央区晴海1-8-11晴海トリトンスクエアY棟36階

お客様総合サービスセンター

0120-405-525

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00 土日祝除く

ヤマト科学ウェブサイト

www.yamato-net.co.jp

メールでのお問い合わせは、ヤマト科学ウェブサイトより受付しております



お問い合わせは、信用とサービスの行き届いた当店へ

Cat.No: C1465B

<国内営業・サービス拠点>

札幌 (011)204-6780 仙台 (022)216-5701 前橋 (027)280-4650 筑波 (029)852-3411 北関東 (048)642-2569 千葉 (043)241-7085 山崎 (083)974-4760 福岡 (092)263-7550

川崎 (044)540-3751 横浜 (045)828-1631 厚木 (046)224-6911 長野 (026)291-6001 東京 (03)5827-3525 東京西 (042)352-3211 名古屋 (052)202-3051 北陸 (076)443-8603 京滋 (075)343-7201 関西 (06)6101-3112

<海外拠点>

サンフランシスコ 重慶 上海 北京 広州 西安 東莞 ケルン

Copyright© Yamato Scientific Co., Ltd. All Rights Reserved.

このカタログの記載内容は2024年2月現在のものです。